

卷之四

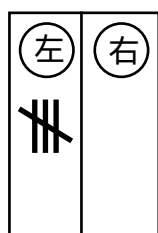
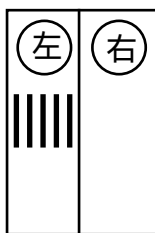
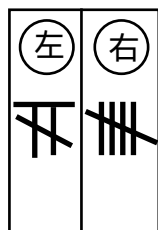
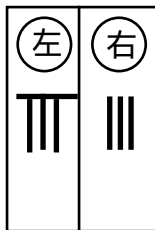
【相減定例】

同名者相減

同名とは正算と正算とも同名亦負算と負算とも同名なり同名のときは相減するなり

$$8-3=5$$

$$(-7)-(-4)=-3$$

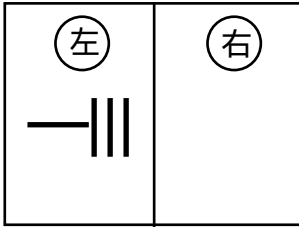
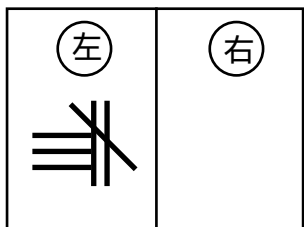
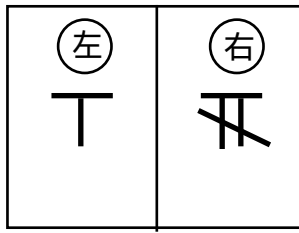
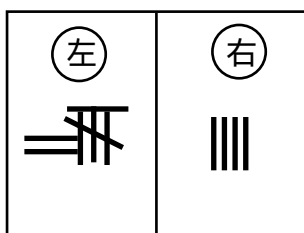


異名者相加

異名とは正算と負算とも異名亦負算と正算とも異名なり異名のときは相加するなり

$$(-28)-4=-32$$

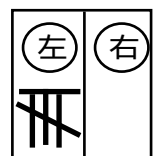
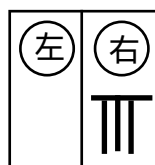
$$6-(-7)=13$$



正無人負之

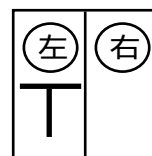
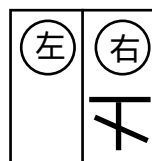
正にとは減ずる数正算を云．無人とは数無事なり．減ずる正算と相對する者に数無故正に無人とは云なり．或は左の内にて右を減ずるに右は正にて数あり左には数なし．此ときは右の正の数を負にして左に置なり．

$$0-8=-8$$



負無人正之

$$0-(-6)=6$$



【相減和解図式】整式の減法

□ 左 = $18 - 3x$
 右 = $6 + 2x$

(左)	(右)	(左)
— Ⅲ	—	— Ⅱ
Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ

左 - 右 = $12 - 5x$

≡ 左 = $88 + 34x$
 右 = $24 - 13x + 8x^2 - 6x^3$

(左)	(右)	(左)
⌊ Ⅲ ≡ Ⅲ	= Ⅲ	⌊ Ⅲ
≡ Ⅲ	— Ⅲ	≡ Ⅲ
	Ⅲ	Ⅲ
	—	—

左 - 右 = $64 + 47x - 8x^2 + 6x^3$

卷之五

【相加定例】

同名者相加

$2 + 7 = 9$ $(-17) + (-6) = -23$

異名者相減

$(-32) + 24 = -8$ $26 + (-12) = 14$

正無人正之

$0 + 9 = 9$

負無人負之

$0 + (-4) = -4$

【相加和解図式】整式の加法

一

左 = $5 - 7x$

右 = $9 + 4x$

(左)	(右)	(左)
		—
 		

左+右 = $14 - 3x$

五

左 = $-33 + 17x - 72x^2 + 56x^3$

右 = $-24 + 26x + 72x^2 - 83x^3$

(左)	(右)
≡ 	≡
—	≡
≡	≡
≡	≡

(左)
≡
≡
≡

左+右 = $-57 + 43x - 27x^3$

凡相加ふるものは右行を以て左行に加ふるも亦左行を以て右行に加ふるも異なることなしといへども初学得易からんことを欲して右行を以左行に加ふることのみを示すなり。

卷之六

【自乗相乗定例】

同名相乗為正

$6 \times 4 = 24$ $(-8) \times (-7) = 56$

異名相乗為負

$(-8) \times 3 = -24$ $7 \times (-6) = -42$

空罫相乗為空

$0 \times 8 = 0$ $(-7) \times 0 = 0$ $0 \times 0 = 0$

【自乗相乗和解図式】整式の乗法

(左)	(右)
⌈⌈	
⌋	

左 = $7 + 6x$

右 = $4 + 3x$

左 × 右 = $(7 + 6x)(4 + 3x)$ の計算

(左)	(右)
⌈⌈ (チ)	
⌋ (リ)	 (イ)
(ヌ)	 (ク)

右行を下げて、右行の頭を左行の一番下の欄に揃える。

右行の最下欄が答の最高次の欄になる。(ヌ)の欄

(リ) × (ク) = $6 \times 3 = 18$ を (ヌ) の欄に

(リ) × (イ) = $6 \times 4 = 24$ を (リ) の欄に

(左)	(右)
⌈⌈ (チ)	 (イ)
= (リ)	 (ク)
-⌈⌈ (ヌ)	

右行を1欄上に上げる。

(チ) × (ク) = $7 \times 3 = 21$ を (リ) に加える。

(チ) × (イ) = $7 \times 4 = 28$ を (チ) の欄に

(左)
=⌈⌈
≡
-⌈⌈

答 $28 + 45x + 18x^2$